

## 木造阿弥陀如来立像 1 軀

### 木造阿弥陀如来立像

もくぞうあみだによらいりゅうぞう

### 分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

### 所有者

宗教法人 西念寺(さいねんじ)

### 所在地

大阪市天王寺区下寺町 2 丁目

### 紹介



木造阿弥陀如来立像(西念寺)

西念寺は下寺町の浄土宗寺院で、18 世紀初めの浄土宗寺院の台帳によれば、文禄年間(1592 年～1596 年)建立とされる。同じ浄土宗の寺町寺院であった両岩寺の本尊像が移されてきており、像高 94.4 センチメートル、動的な要素と静的で穏やかな要素が調和した、巧みな衣のひだの表現、ひねった腰や、前方にわずかに踏み出す右足など、動きのある体軀(たいく)の表現に特色がある。制作年代は、13 世紀代後半と考えられる。寺町の浄土宗寺院に伝来する中世の希少な阿弥陀像のひとつである。